

災害時にみんなで助かるために ひなんサポーター研修を初開催

1 趣 旨

近年、全国各地で災害が多発し、近い将来に南海トラフ地震の発生も予想されています。災害時には自分や家族の身を自分たちで守る「自助」とともに、一人で避難することが難しい方（要配慮者）への声かけ・避難誘導など、隣近所・地域コミュニティによる「共助」の助け合いが重要になります。

要配慮者を支援するため、本市では、自治会・町内会、民生児童委員、福祉専門職、地域総合支援センターやまちづくり協議会、市等の関係者が協力して、要配慮者一人ひとりの事情に応じた個別避難計画の作成に取り組んでいるところです。この研修を受講して多くの方にひなんサポーターになっていただき、地域共助による要配慮者の更なる支援体制づくりに取り組みます。

ひなんサポーターとは？

災害が発生し自分・家族の安全が確保できたとき、可能な範囲で、近隣の高齢者・障害者に声をかけて一緒に避難したり、避難所でのお手伝い等に協力してくれる人を明石市では、「ひなんサポーター」と呼んでいます。

2 日 時

2024年（令和6年）1月27日（土）13時30分～16時

3 会 場

ウィズあかし 704 学習室（明石市東仲ノ町 6-1 アスピア明石北館 7F）

4 受講対象

中学生以上 定員 100 名

参加費無料、当日参加者にはサポーターグッズをお渡しします。

5 内 容

地域共助の重要性を感じ、ひなんサポーターとなっただけけるよう、明石市における南海トラフ巨大地震の被害想定や、災害時に支援が必要な人などを知るための講演、災害時の障害者支援を体験し意見交換する演習などを予定しています。

6 講 師

演 習 兵庫県社会福祉士会

助 言 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 阪本 真由美 教授

※阪本教授には、最後に研修の振り返りと講評をお願いしています。

7 その他

次年度以降も、本研修を継続的に実施していく予定です。